

△ 使用上の注意 **✕ してはいけないこと** **解熱鎮痛薬**

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。(2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと 他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬 3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと (眠気等があらわれることがある。) 4. 服用前後は飲酒しないこと 5. 長期連用しないこと

■ 相談すること 1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。(3) 授乳中の人。(4) 水痘 (水ぼうそう) 若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児 (15歳未満)。(5) 高齢者。(6) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(7) 次の診断を受けた人。心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は、副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること 皮膚：発疹・発赤、かゆみ／精神神経系：めまい／消化器：吐き気・嘔吐、食欲不振／その他：過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮剥離症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ (小膿疱) が出る。全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸 (皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしただけで息切れがする・息苦しくなる、空咳、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
腎障害	発熱、発疹、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛 (節々が痛む)、下痢等があらわれる。
ぜんそく	息をするときゼーゼー・ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること 眠気
4. 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

2包 (1包 1g×2) 入 **¥200+税**

副作用被害救済制度

0120-149193

ZUTUNōICHI 頭痛・神経痛

ズツノーイチ

解熱鎮痛薬

第②類医薬品

効能又は効果

1) 頭痛・歯痛・拔牙後の疼痛・
咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・
腰痛・筋肉痛・肩こり痛・
打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・
月経痛 (生理痛)・外傷痛の
鎮痛

2) 悪寒・発熱時の解熱

用法及び用量

大 人 (15歳以上) …… 1回 1包
7歳以上15歳未満 …… 1回 1/2包
3歳以上 7歳未満 …… 1回 1/4包
3歳未満は服用しないこと。

(用法及び用量に関連する注意)

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

成分及び分量 1日量 (2包 (2g)) 中

日局 アセトアミノフェン …… 600mg 添加物としてヒドロキシプロピ
日局 エテンザミド …… 600mg ルセルロース、グリチルリチン
日局 プロモバルビル尿素 …… 400mg 酸2K、グリセリン酸Ca、バレ
日局 無水カフェイン …… 200mg イシヨゲンブ、香料を含有する。

保管及び取扱い上の注意

(1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。(2) 小児の手の届かない所に保管すること。(3) 他の容器に入れ替えないこと。(服用の原因によって品質が変わる。)(4) 1包を分割した残りは、袋の口を折り返し残量を記載して保管し、2日以内に服用すること。(5) 配置期限をすぎた製品は服用しないこと。

製造販売元 **大和合同製薬株式会社**
奈良県橿原市川西町632-1

お問い合わせ先
0744 (27) 3325



ズツ
ノー
イチ



配置期限

△ 使用上の注意 × してはいけないこと 解熱鎮痛薬

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる）
 1. 次の人は服用しないこと（1）本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。（2）本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと 他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬 3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと（眠気等があらわれることがある。）
 4. 服用前後は飲酒しないこと 5. 長期連用しないこと

■ 相談すること 1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること（1）医師又は歯科医師の治療を受けている人。（2）妊婦又は妊娠していると思われる人。（3）授乳中の人。（4）水痘（水ぼうそう）若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児（15歳未満）。（5）高齢者。（6）薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。（7）次の診断を受けた人。心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
 2. 服用後、次の症状があらわれた場合は、副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 皮膚：発疹・発赤、かゆみ／精神神経系：めまい／消化器：吐き気・嘔吐、食欲不振／その他：過度の体温低下
 まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮剥離症候群、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る。全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりと息切れがする・息苦しくなる、空咳、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
腎障害	発熱、発疹、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢、尿量の減少等があらわれる。
ぜんそく	息をすときゼーゼー、ヒューヒューと喘ぎ、息苦しい等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること 眠気
 4. 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

2包(1包1g×2)入 ￥200+税

副作用被害救済制度 ☎ 0120-149931

配置期限

頭痛・神経痛

第②類

解熱鎮痛薬

医薬品



ツッーイチ

効能又は効果

1) 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛 2) 悪寒・発熱時の解熱

用法及び用量

大人(15歳以上) 1回1包
 7歳以上15歳未満 1回1/2包
 3歳以上7歳未満 1回1/4包
 3歳未満は服用しないこと

いずれも1日2回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用すること。服用間隔は6時間以上おくこと。
 (用法及び用量に関連する注意) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

成分及び分量 1日量(2包(2g))中

日局 アセトアミノフェン 600mg 添加物としてヒドロキシ
 日局 エテンザミド 600mg プロピルセルロース、グリ
 日局 プロモバレリル尿素 400mg チルチン酸2K、グリセ
 日局 無水カフェイン 200mg ロリン酸Ca、パレイン
 デンプン、香料を含有する。

保管及び取扱い上の注意 (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。(2)小児の手の届かない所に保管すること。(3)他の容器に入れ替えないこと。(4)服用の原因により品質が変わる。1/4包を分割した残りは、袋の口を折り返し残量を記載して保管し、2日以内に服用すること。(5)配置期限をすぎた製品は服用しないこと。

製造販売元 大和合同製薬株式会社
 奈良県橿原市川西町632-1

お問い合わせ先
 0744(27)3325

づつう・はいた

